

令和4年度 第1回日野市総合教育会議
議題第1号

日野市長期ビジョンの 策定について

2022年11月15日(火)





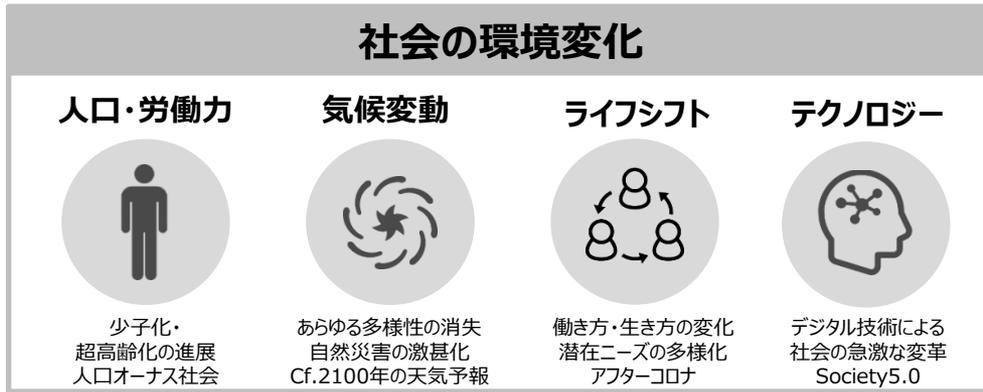
ヒノタネプロジェクトについて

日野市の長期ビジョン「2030ビジョン」をつくるために、日野市に関係のある市民、職員、多くの人を巻き込んで、未来に花咲くタネを捲くプロジェクト

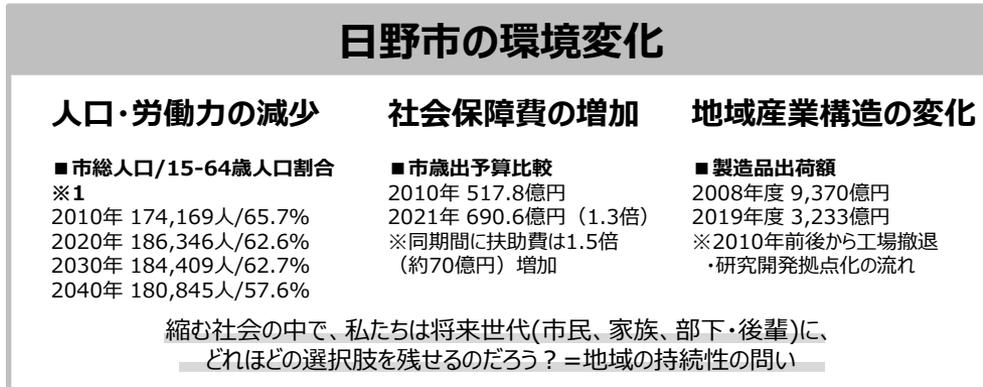
→未来に目を向けるきっかけをつくるもの



「行政の事業計画」から「地域で共有したいアジェンダ」へ。縮む社会を前提に、将来世代に何を残していくかをポジティブに。



分野レス
“X”の必要性

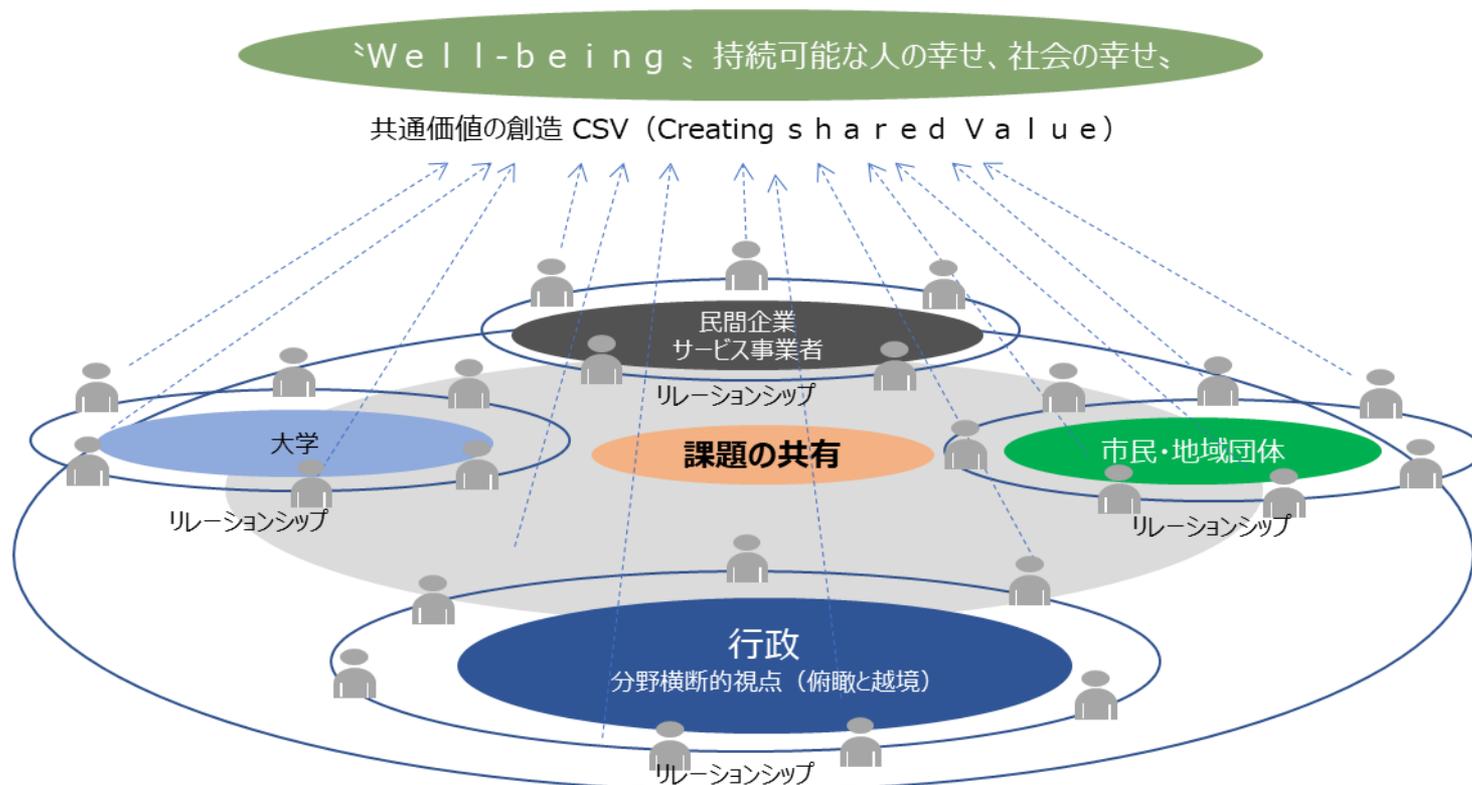


※1…10-20年は住基、30年以降は推計値 (日野市人口ビジョン 2017)





一つの視点やアプローチでは解決が難しい社会課題などに対して、各主体者が目標を共有し、緩やかな協調関係で全体性を補完して取り組むことを目指します。





目標 **10,000名**(延べ)の関与

- タウンミーティング参加者数延べ 約500名
- 学生(小中高大)アンケート・授業など 約3,750名
- 市民意識調査 未実施
- 通勤通学人口調査 未実施
- 個別(市民・団体・職員)インタビュー 20名
- コンテンツへの一般投票数 76件
- クリエイターSNS「note」総スキ数306(フォロワー数87)
※自治体公式アカウント「はじめまして」記事 86自治体中4位
- YouTube再生数 150回

現状 **4,752名**(延べ)

※2022年11月14日現在

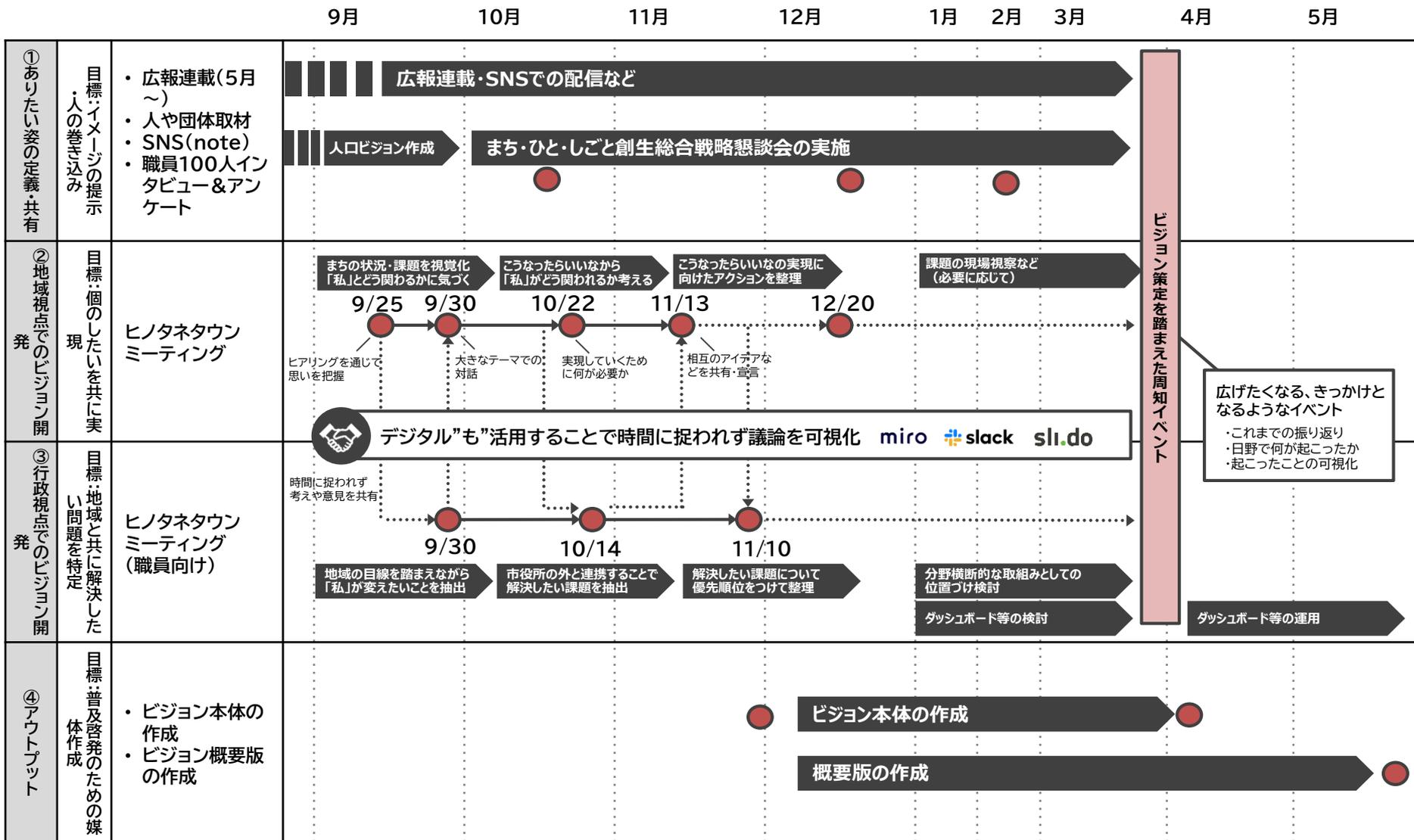


この仕事の魅力を伝えていきたい—障害福祉の仕事は、『大変...
ごんにちは！日野市の職員Mと
す！福祉の仕事について、仕事
のハードさがはなされることか。
042

note



策定に関するスケジュール





第1回タウンミーティング -9月25日(日)-





タウンミーティングはそれぞれの役割において、 「どうしたらよいか」を考えてもらうことを重視



職員タウンミーティングイメージ



共に考えたい問い



市民(フリー)タウンミーティングイメージ



対話のテーマ「こんな日野市になってほしい」

1. 日野の目指す姿としてみんなで共有したい価値
(大事にしていきたいこと)は？
2. 何がなくなったら、何が変わったら日野市から出ていく？
3. 日野市で街中のにぎわい、歩いて楽しい街を実現するためには？※
4. 日野市でどんな交流の場、使える場所があったらいいか？※
5. 日野市にどんな企業、お店があると(増えると)いい？※
6. こんな日野市役所になってほしい！と思うことは？



「こんな日野市になったらいいな」の例

1. 日野の目指す姿としてみんなで共有したい価値(大事にしていきたいこと)ことは？	<ul style="list-style-type: none">・ありのままの自分、個人を受け入れてくれる。適当さ、自由さ。・居場所はあるけれど、自分の場になっていない=自分のものと思えていない。
2. 何がなくなったら、何が変わったら日野市から出ていく？	<ul style="list-style-type: none">・利便性や仕事がなくなる。→自然は近隣の自治体に行けばいい。
3. 日野市で街中のにぎわい、歩いて楽しい街を実現するためには？	<ul style="list-style-type: none">・ふらっと、目的がなくても参加できる場所・資源やまちはあるから、このままでいいんじゃないか。
4. 日野市にどんな交流の場、使える場所があったらいいか？	<ul style="list-style-type: none">・性別、年齢、障害の有無など関係なく集える居場所・気軽に参加できる居場所
5. 日野市にどんな企業、お店があると(増えると)いい？	<ul style="list-style-type: none">・障がい者の方が普通に働けるお店
6. こんな日野市役所になってほしい！と思うことは？	<ul style="list-style-type: none">・日野市職員の〇〇さんのように、“人”が見えてくるといい。・人が見えてくると、ミスも許せる…



「こんなテーマで職員と話したい！」

- まち全体で子育てできるまち。どうしたらママさんが子育てしやすくなるのか？
- ゴミの排出量を少ない市で1位にしたい！
日野市の認知に繋げたい！
- ほかの視点から見た日野市について話したい！
- 日野市の自然を生かした魅力発信



共通するキーワード

- ・いろいろな人がまちに生きている
- ・自分も他者も認め合っている
- ・顔の見える関係
- ・まちに賑わいをつくる
- ・日野のニッチさ、ローカルな良さの発信
- ・心の拠り所(居場所)
- ・まちのきれいさ=自分の暮らしの充実

市民意識調査について

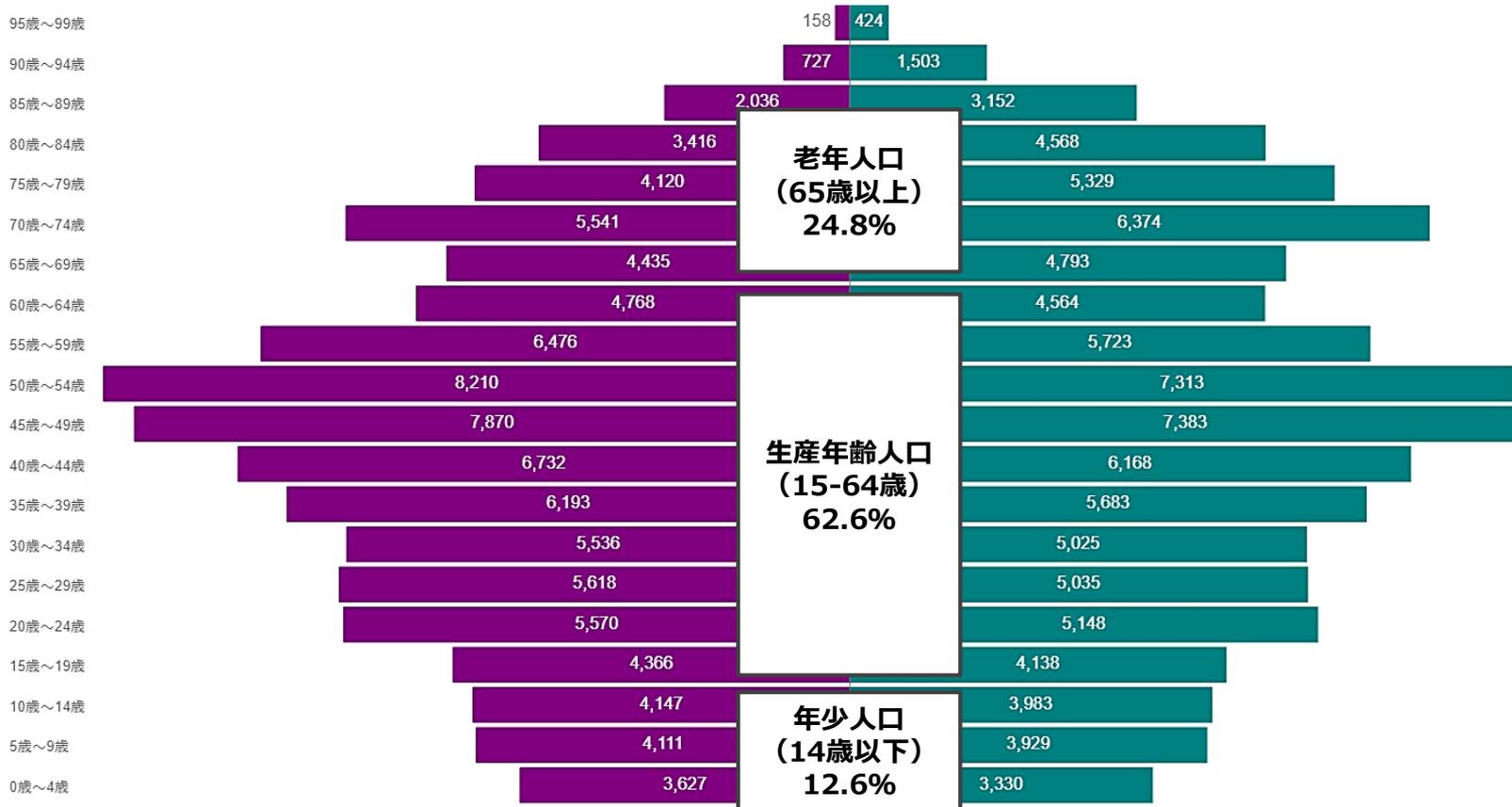


既存の市民意識調査は回答年代に偏りが生じていました。

既存調査・
会議の対象

回答率・
参加率
が高い世代

この層を
どう扱っていく
のか



市民意識調査(小中学生版)の概要



対象者数：7,203名（小学校5・6年生3,078人、中学校1～3年生4,125人）

回答者数：3,634名 回答率：50.4%

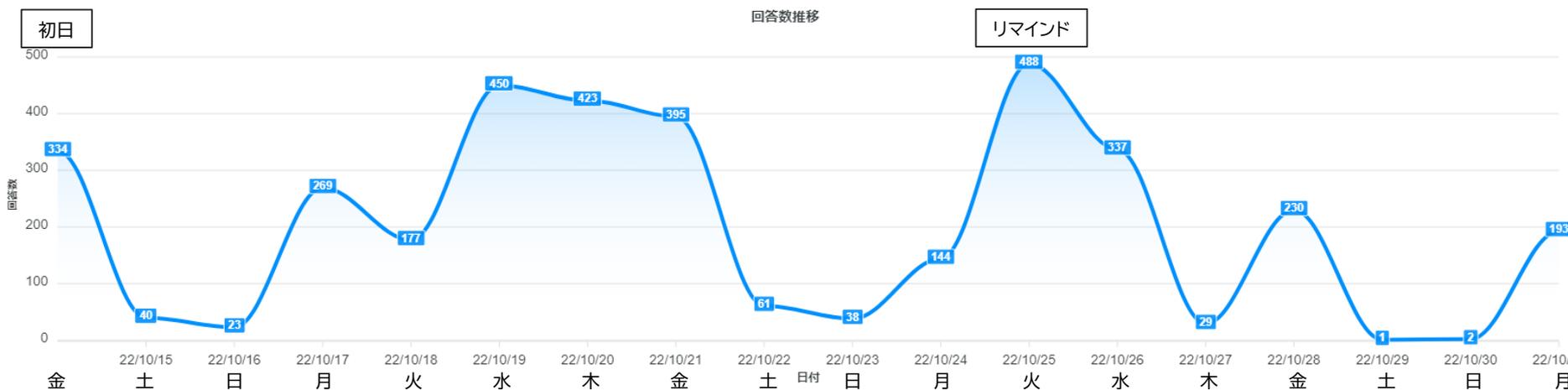
回答期間：10/14～10/31（インターネット回答） 調査設問数：10問（町丁目住所+選択式7問+記述式1問）

住んでいる地域への愛着		自分にあてはまるか
1	私の暮らしている地域やまちは好きだ。	1～4
2	地域やまちの中に、誰かにすすめたい場所や景色がある。	1～4
ネットワーク：受援力（人への信頼）		
3	困ったことがあったら、必要な時にいつでも頼れる人がいる。	1～4
規範（寛容さ）		
4	私とはちがう意見の人がいる時、話し合うことでおたがいの考えを知り合うことが大切だと思う。	1～4
規範（周囲の寛容さ）		
5	私や私の周りでは、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある。	1～4
多世代共創		
6	将来、暮らしているまちは今よりも良くなっていくと思う。	1～4
社会への信頼		
7	まちや市役所は私の考えや意見に向きあってくれると思う。	1～4
日野市について		
8	あなたは、10年後にタイムスリップしました。どんなまちになっていたらうれしいですか？（自由記述）	

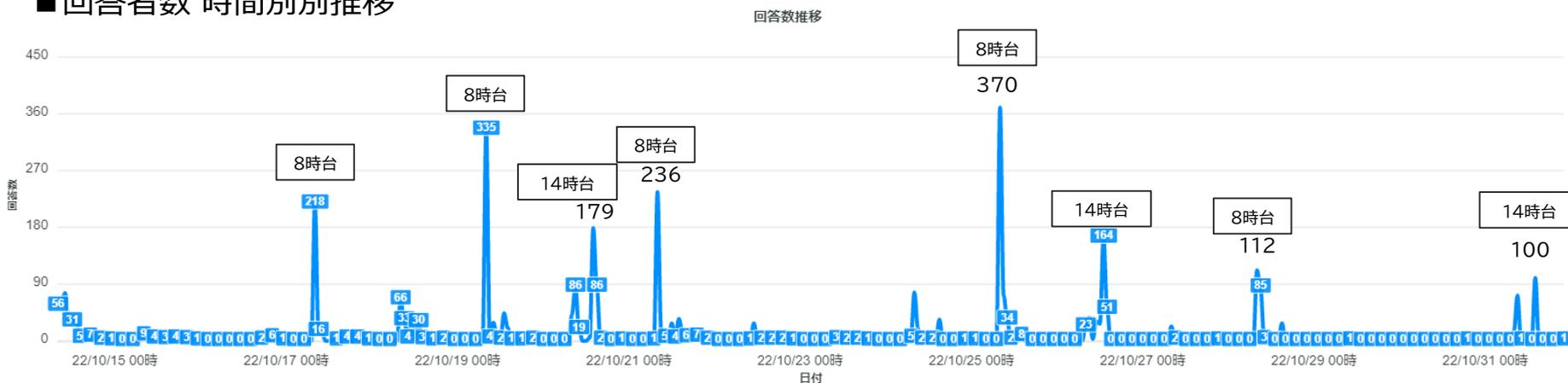
市民意識調査(小中学生版)の結果



■ 回答者数 日別推移



■ 回答者数 時間別別推移



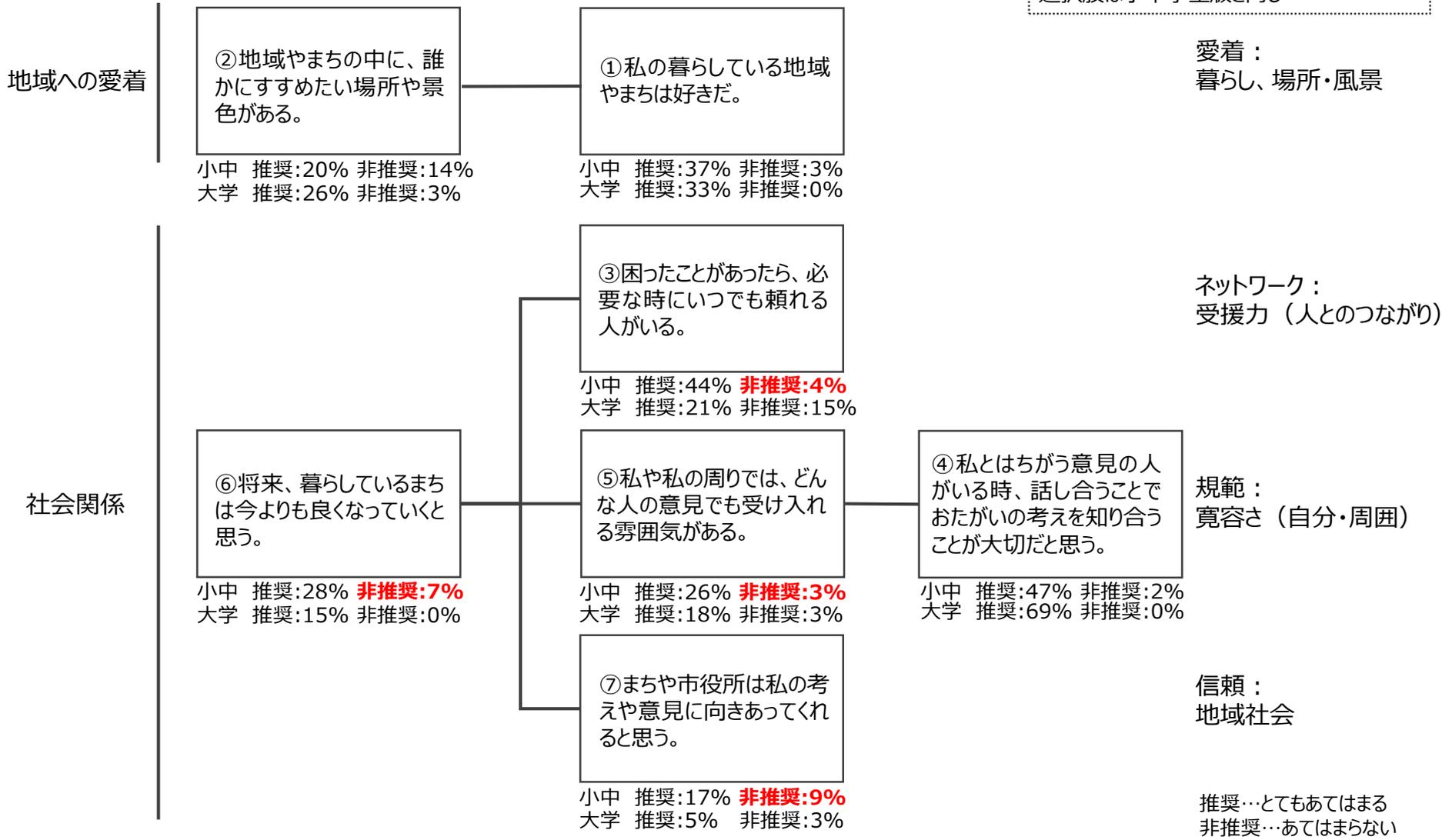
市民意識調査(小中学生版・大学生版)の結果



※モデルは調査検討時に仮説として設定

※③⑤⑦で非推奨（あてはまらない）の方は⑥（将来）についても非推奨と答える方が多い

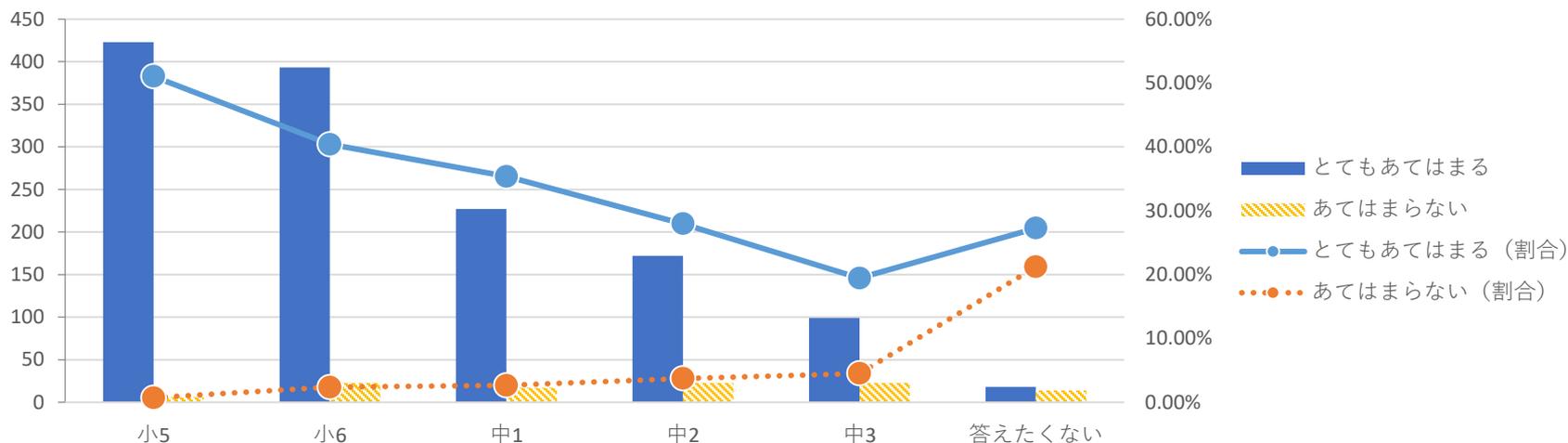
大学生版は回答者数が39名
日野市居住が10%、日野市外居住が90%
選択肢は小中学生版と同じ



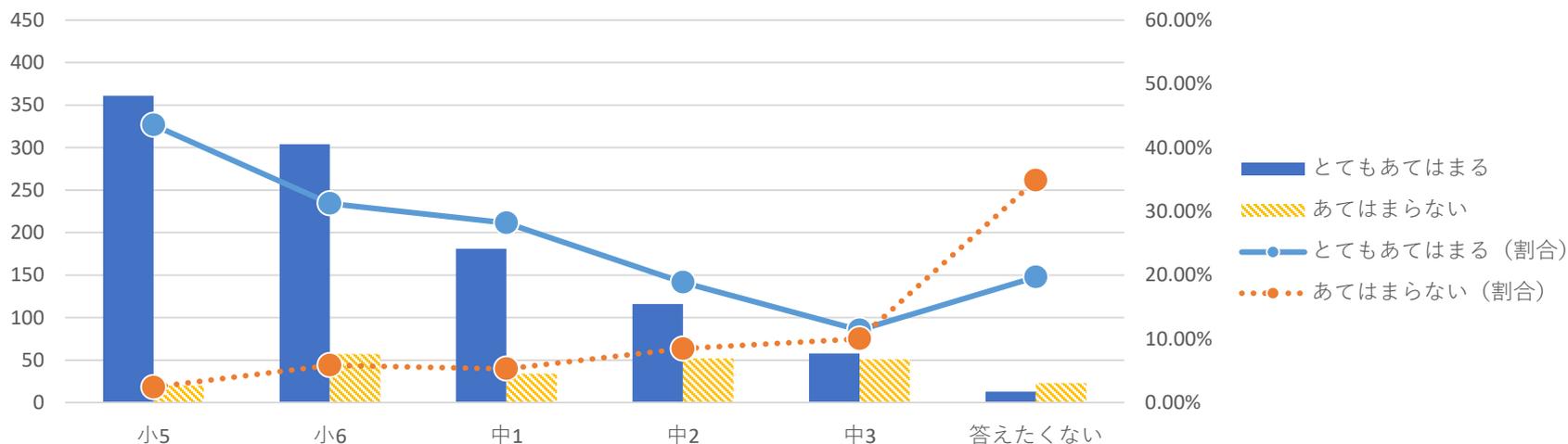
市民意識調査(小中学生版・大学生版)の結果



私の暮らしている地域やまちは好きだ。



将来、暮らしているまちは今よりもよくなっていくと思う。





- もっと自然豊かになっていたらいい
- もっときれいなまちになっていたら嬉しい
- 自然あふれるまちになってほしい 不審者等がいなくなっている。
- 建物がきれいになってほしい
- みんなが暮らしやすいまちになってほしい
- 自然がたくさんある平和で豊かなまち
- 緑がたくさんある街になってほしい
- 自然がたくさんある町がいいです。
- 自然豊かで、ゴミのないきれいな街 など

■ 単語出現回数（名詞） ※上位30位以上を大まかな分野ごとに記載

自然・環境	898回	便利・発展・娯楽	276回
平和・自由（平和や自由を脅かすものからの安心安全）	439回	学校	65回
場所・居場所	261回		



推奨

【現在○ 将来×】

26件

(10年後のまち)

みんなが人をきづかいながら言いたいことを言える街
 自然が豊かで戦争や核が無く助け合える平和な世界
 自然豊か。今の世界はヒトだけが住みやすい。動物たちと共存。弱肉強食があっても、対等でありたい
 今より暮らし辛くないと嬉しいです
 現在の日野市の財政難を解決しコロナ禍が収まったら日野市の歴史、新選組などを今まで以上にアピールして有名な都市。
 小銭、又は札が道路、歩道にちらほら落ちている町。
 今のままであってほしい

【現在○ 将来○】

591件

(10年後のまち)

自然豊かで暮らしやすい街として有名な街になってほしい。
 自然を生かした明るい街
 暮らしやすく、色々な開発が進んでいる。でも、自然が増えていく。
 ゴミのない街 犯罪のない街
 SDGsなどの世界が活動している行事を、地域みんなが協力してくれる町
 AIと人間が関わりあいながら社会をきづいていける街になってほしい。

①私の暮らしている地域やまちは好きだ。

【現在× 将来×】

46件

(10年後のまち)

大人も子供も楽しめたりするような施設がある街
 安定した税金があり、しっかりと市民に還元できている街
 期待してない
 市政の腐敗が治っていて、補助金問題(元副市長の)やパワハラ問題(市が経営している病院での)などが起きない街
 渋谷のように栄えている街がいい
 きれいな桜並木や銀杏並木があり、年に一度大きな祭りが開催される
 自然がたくさんあり、たくさんのお店や商店街がある街。

【現在× 将来○】

9件

(10年後のまち)

人口が多くなってほしい。
 入場無料のスケボーパークを作りたい
 人が溢れる街
 立川の様なまち
 建物がきれいになってほしい
 バリアフリーな街
 でかいショッピングモールや本屋さんがあって欲しい
 きれいで皆がやさしいまちがいいです
 みんなが協力してみんなが笑顔いっぱいな町

非推奨

非推奨

②将来、暮らしているまちは今よりも良くなっていくと思う。

推奨…とてもあてはまる
 非推奨…あてはまらない



(学校の活動時間について)

- アンケートは8時台、14時台の回答が多い。朝の活動などで置き換えられる範囲であれば回答しやすいと推測される。

(調査結果概要について)

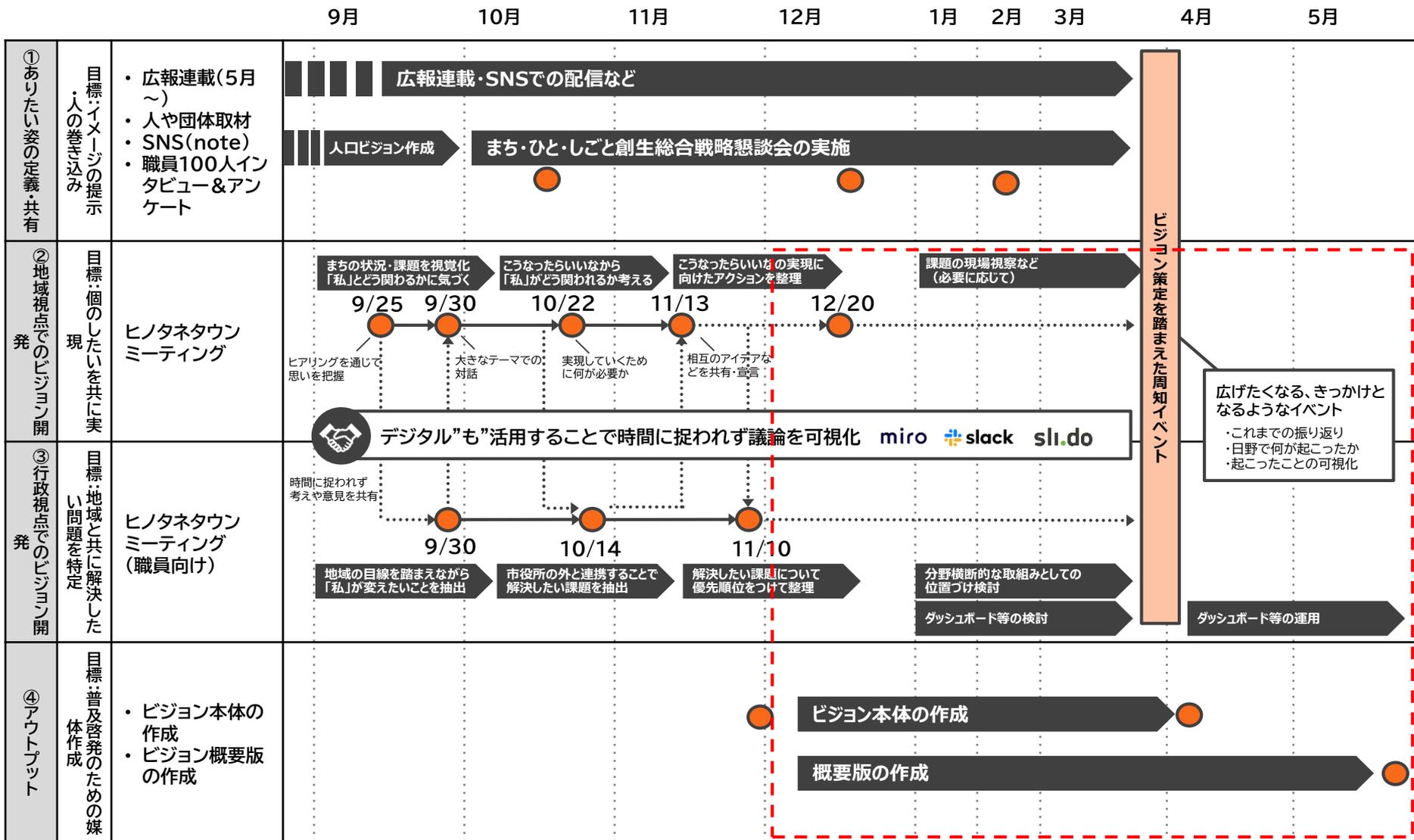
- 子ども世代との信頼関係をつくっていくことが将来のまちに対するポジティブな意識につながっていく可能性がある。
- 「現在○将来○」と感じている声を聞きがちだが、「現在×将来×」と感じている声（不満な点）も一定程度は把握できた。

(今後に向けて)

- 今回は定住意向を把握していない。本調査とは別に大人になって日野にUターンしてきた方の理由なども把握できると地域への愛着との関連性も見られる可能性がある。

今後について

今後に向けたスケジュール





環境系

使うものも買うものも、意識しなくても環境にやさしいまち

みんなで協力しあう、ゴミゼロ日本一のまちづくり

水やみどりが日々を豊かにしているまち

自分たちのちょっとした取組みがまちのGoodにつながるまち

環境にやさしく、住むことが誇りになるまち

自分の暮らしに必要なものを理解して、その生活がどのようなものの上に成り立っているか分かっている

多様化(ごちゃまぜ)系

当事者が意思決定に参加するまち

中高生も自分の活動を実践できるまち

共に創る、地域情報が飛び交う賑わいのまち

顔が見える、一人ひとりが自分を活かし、認め合う共創のまち

自分と他者が生きている、生きてきた背景を認め合うまち

産業系(デジタル・イノベーション含む)



暮らしの中からイノベーション
~まちと企業が結びつくリビングラボ日野

モバイルワークで職住近接・働きやすく、仕事でもつながりあう刺激的なまち

新しいものも古いものもうまく取り入れて、ものの本質を大切にす
るまち

三方よし!の関係から新たなコトが生まれるまち

未知をおもしろがり、探求できるまち

何があっても、何とか働き続けられるまち

居場所系

気軽に集う居場所、コミュニケーションのあふれるまち

心地よい居場所、住み続けたいまちを自分たちでつくるまち

居場所に集う人も集わない人も、認め合えるまち

自分と自分の周りだけじゃない、いろいろな人が生きていることが実感できるまち

適度な距離でいろいろな人が好きなことをやっているまち

中の人はどう変えていきたいのか系

デジタルで利便性アップ、職員の顔が見える、笑顔の市役所

知ると思わず働きたくなる市役所

シビックプライド系

暮らしの余白が価値を生み出すまち

自分の住むまちと暮らしに納得して誇りに思える

ローカルに目を向け、好きを発信できるまち



日野からサステナブルな暮らしを実現していくには？

日野ではゴミ減量や環境に取り組んできた。しかし、意識の差が分断を生んでいる。

自分を活かし、活かされると実感できる地域とは？

自分ごとに考えられていない=自分のトクイなことが生かされていない感がある。

市役所と地域がよりよい信頼関係をつくっていくには？

顔が見える方がよいとは双方ともに思っている。しかし、実際は要望への対応などで手一杯

ビジネスと暮らしが結びつき価値を生み出していくためには？

2017年以降急減した製造品出荷額。産業誘致できる土地が少ないことを前提に、内発的な産業育成も大切に。

地域で多様なかかわりあいの生まれる、適度な距離感のコミュニティや居場所とは？

属性ごとにコミュニティが存在している。コミュニティ同士の連携はどうか。

日野のことを好きと言える人を増やすには？

友達や知人に日野のことを好きと言いつらい。日野についての情報発信が少ない。

日野の自然を活かして、普段の暮らしをもっと豊かにするには？

私たちの生活のレイヤーは環境で成り立っていると考えられていない。

違いを力にしていくインクルーシブな地域を実現するには？

同化させることで基本的なサービスを満たしていく一方で失われるものも。ありのままで行われる共生社会を実現していく。

デジタルでみんながもっと便利になり、コミュニケーションを深めるには？

「デジタル」先行しがち。地域全体がよくなっていくことにデジタルがどう貢献できるかの視点が必要。

年代に関わらずやりたいうことが実現しやすくなるまちにするには？

始めやすくなるには周りの環境や意識も重要。

まちと地域がよい相乗効果を生み出す協働の仕組みとは？

市民との共創・協働、「諸力融合」は実現できている？

働きやすく、働き続けられるまちを実現するには？

老々介護、メンタルケア。思いもよらないことがあった場合、他人の助けを得ながら役割を継続していくことは難しい。

本体のまとめ方のイメージ



シナリオ

1

自然、歴史、文化に立脚したまちづくりをすすめる

古くて新しくて心地よいまち

金沢らしい暮らし方、働き方、住まい方を知り、継承する。

- 金沢らしさを学ぶ場をつくらう。参加するのいいね。
- 金沢の自然・歴史・文化の盛り立ちを学ぶ。
- 金沢の歴史や文化の語りべを増やそう。
- 住んでいる地域の関心を持つ。
- 地域の「いいもの探し」をしてみよう。小学校と協力するといいかも。
- 地域の個性を盛り起こすイベントを企画してみよう。
- まちなかの狭い道をつないで、おさんぽルートをつくってみよう。
- 歩きたい？ 自転車規制を増やすことを考えてみよう。
- まちなかのライフスタイルを発信しよう。楽しそうと感じた人は、自分も体験してみよう。
- まちなかの商店街や、地元のお店で買いたいものをしよう。
- 買いたい事しよう。金沢の伝統や文化を知るきっかけになるよ。
- 町会の祭礼に参加してみよう。
- 祭礼・風習・季節感を大切にしよう。
- 公共交通のマナーを守ろう。気持ちよくバスや電車を利用できるようにしよう。
- 乗りたくなる公共交通を育てる。
- 使う人も、サービスを提供する人も、行先も、公共交通を地域の共有財産として活かす工夫をしよう。
- バスや電車を利用する日を増やそう。新しい発見があるかも。
- 多くには遠いところへは自転車。シェアサイクル「まちのり」も利用してみよう。
- マイカーをひかえる。
- 探検気分、ふだん歩かない道も歩いてみよう。

「ウチの庭」は地域のたから。大切につくり育てよう。

自然と調和した、災害に強いまちをつくる。

- 過去に発生した災害について調べてみよう。埋もれた教訓を振り返りこそう。
- 住んでいる地域の自然災害リスクを知り、備える。
- 避難場所や避難のしかたを知っておこう。地域で防災知識を学び、防災活動を行おう。
- 環境保全活動に取り組みよう。金沢ならではの自然と文化のつながりを意識して。
- 生物多様性と文化の関わりを学び、守る。
- 金沢の市街地を囲む斜面緑地や、神社を囲む鎮守の森は、多様な生物のいのちを育む場。大切に守り育てよう。
- 豊かな食と自然を未来に繋げる。持続可能な農林漁業を推進しよう。

いろいろな世代がわくわくするコトと場をつくる。

- 小さな庭やコミュニティガーデンを撮やそう。使ってもらいたい人と使いたい人をマッチングしよう。
- まちなかと黒山・田園地域の交流を増やそう。
- 各人と買う人が協力して、中山間地の農産物を売り買いする場をもうけてみよう。
- まちなかで新しいコトを起こす。
- 新しい場所をつくる。
- 地域の個性を打ち出す。
- まちなかにはいろんな公共空間があるよ。新しい活用の仕方を考えてみよう。
- ふだんの暮らしに近い高層ビルや商店街のカルチャーを育てよう。
- まちの新陳代謝を上げる活動をしてみよう。地域の個性を生かしたリノベーションはどう？

あなたやまわりの人のアイデアを書き出してみよう！

もっとたくさん
の“みんなの
アイデア”を
見てみよう！



自然と調和した、災害に強いまちをつくる。

- 過去に発生した災害について調べてみよう。埋もれた教訓を振り返りこそう。
- 住んでいる地域の自然災害リスクを知り、備える。
- 避難場所や避難のしかたを知っておこう。地域で防災知識を学び、防災活動を行おう。
- 環境保全活動に取り組みよう。金沢ならではの自然と文化のつながりを意識して。
- 生物多様性と文化の関わりを学び、守る。
- 金沢の市街地を囲む斜面緑地や、神社を囲む鎮守の森は、多様な生物のいのちを育む場。大切に守り育てよう。
- 豊かな食と自然を未来に繋げる。持続可能な農林漁業を推進しよう。

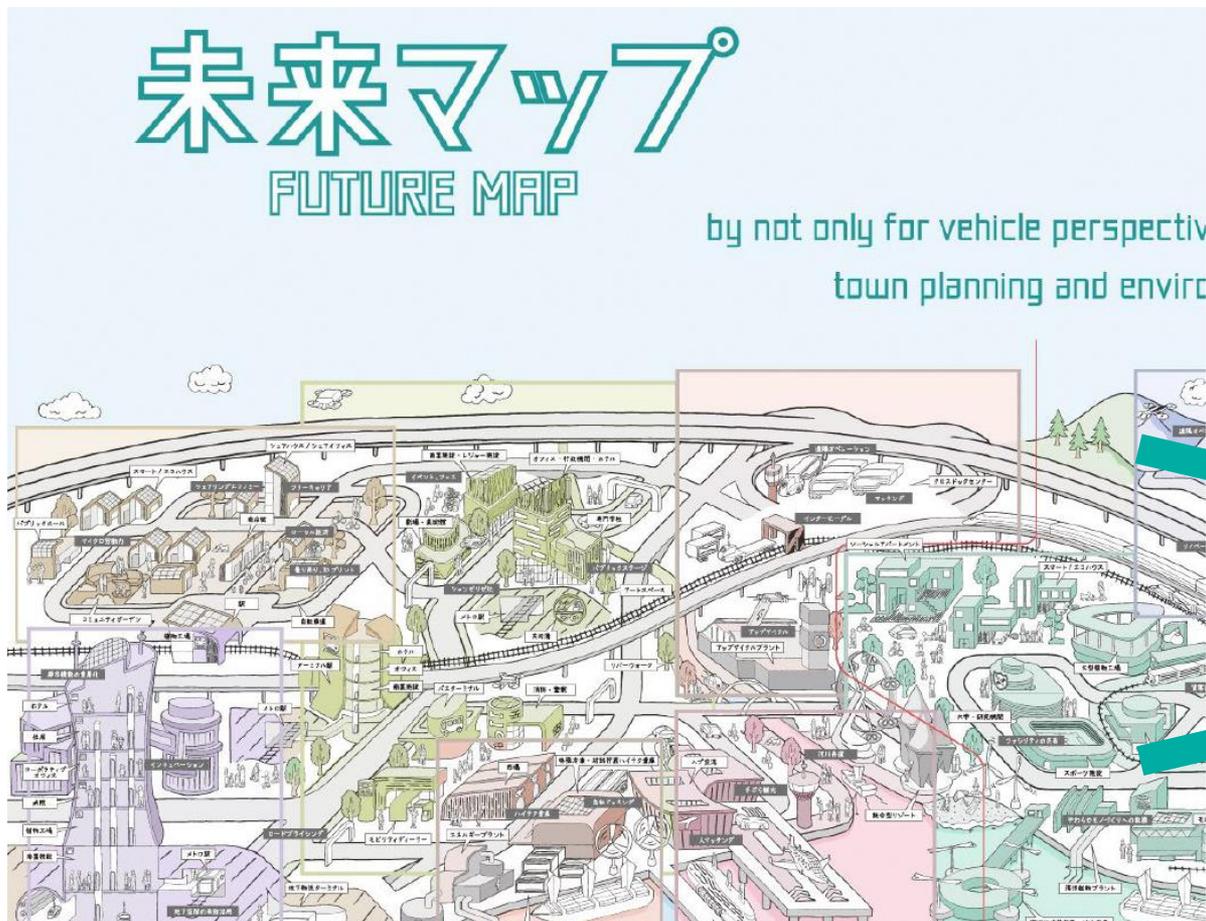
いろいろな世代がわくわくするコトと場をつくる。

- 小さな庭やコミュニティガーデンを撮やそう。使ってもらいたい人と使いたい人をマッチングしよう。
- まちなかと黒山・田園地域の交流を増やそう。
- 各人と買う人が協力して、中山間地の農産物を売り買いする場をもうけてみよう。
- まちなかで新しいコトを起こす。
- 新しい場所をつくる。
- 地域の個性を打ち出す。
- まちなかにはいろんな公共空間があるよ。新しい活用の仕方を考えてみよう。
- ふだんの暮らしに近い高層ビルや商店街のカルチャーを育てよう。
- まちの新陳代謝を上げる活動をしてみよう。地域の個性を生かしたリノベーションはどう？

副読本(マンガ版の制作)



市内にマンガ家のシェアハウスを運営するNPO法人レジカと連携。
何が行われているようになっていくかを視覚的にマンガで表現。

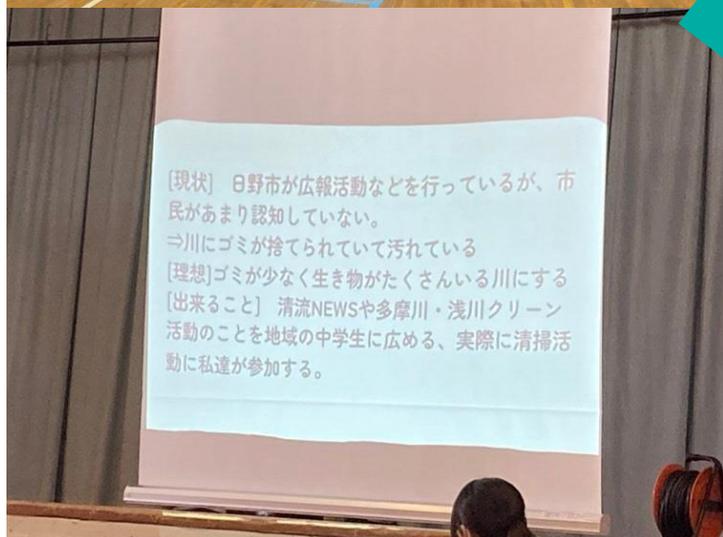


この中では
何が起きている？
→マップだけでは共有
しづらい視点



より詳細な視点をストーリーを持って
伝えるための手段として優位な手法と
して判断。(マンガ起用の意図)

(参考) 日野自動車デザイン部作成未来マップ
未来の社会、まちで何が起きているか。その上で車はどのような価値を提供しているかを描いたもの。



日野の未来について学校の中だけではできないこと、大人とフラットに話せる場としてヒノタネの場にお誘い。



